



Mr. アカデミー
甲斐の寅

330複合地区ガバナー協議会会員増強・会員維持委員
330-B地区 会員増強・維持・エクステンション委員長

L川手 寅平

1962年生まれ(48歳)。
2002年山梨県・南アルプスLC入会。
2007年地区青年アカデミー委員会委員長、330複合地区青少年育成・ライオンズクエスト委員会委員。2008年クラブ会長。2009年ゾーン・チェアパーソン。2010年地区MERL委員会副委員長。そのライオンズを愛する活動的な姿勢は高く評価されている。2008年当時日本最大の会員数を誇っていた南アルプスLCからエクステンションし、山梨アカデミーLCを創立会長として結成する。また2010年には、平均年齢27歳・企業内クラブとして山梨ニューセンチュリーLCを結成する等新しい形のエクステンションを精力的に推進している関東随一の若手行動派ライオン。



雄々しくプリリアントな
Servannaの神様

334-B地区 IT委員会特別委員

L清水 博

1958年生まれ(52歳)。
1991年岐阜県・揖斐川LC入会。
2005年(～現在に至るまで通算6期)地区IT委員会特別委員。2006年複合地区IT委員会委員長。長年にわたり地区のIT化を促進するために、キャビネットはじめ地区内85クラブ全ての事務局員に毎年eMMR Servannaを指導しているグッド・スタンディングの守護神としてなくてはならない存在。時速150kmの機動力で国際大会やオセアル・フォーラムにも度々出役している。ユーモアに溢れ愛に満ちたコメントはSNS「ライオンネット」中随一の人気者。



日本ライオンズの教習
ライオンズアングラの帝王

335-A地区 第一副地区ガバナー

L団 英男

1956年生まれ(54歳)。
1999年兵庫県・神戸レインボーLC入会。
2009年神戸みなとLC転籍。2001年クラブ幹事、地区IT委員。2002年地区IT副委員長、クラブ会長。2003年地区YE副委員長、地区IT副委員長。2004年地区YE特別委員。2005年ゾーン・チェアパーソン。2006年地区キャビネット幹事、複合地区ガバナー協議会事務局管理常任委員。2007年地区指導力育成・会員研修委員長、複合地区指導力育成委員。2008年リジョン・チェアパーソン。2009年第二副地区ガバナー、地区会則委員長、地区MERL特別委員会副委員長、複合地区会則委員。累進メルビン・ジョーンズ・フェロー。元国際理事。L団忠夫を父に持つ、親子二代にわたるライオンズファミリー。ライオンズの諸事全般に通じた多くの経験と堪能な語学力(英語)により、内外に人脈も多く高い評価を受ける。上位ライオンズ・リーダーシップ研究会講師を長年務めた経緯により全国のガバナーのお世話役としても著名。SNS「ライオンネット」のご意見番にして守護神。



献血の鉄人
南海のシーサー

337-D地区 第一副地区ガバナー

L識名 安信

1955年生まれ(55歳)。
1995年沖縄県・八重山LC入会。
2001年クラブ幹事。2006年クラブ会長。2007年ゾーン・チェアパーソン。2008年リジョン・チェアパーソン、複合地区年次大会実行委員長。2009年地区LCIF国際協調委員長、地区リジョンコーディネーター、第二副地区ガバナー。八重山LCが所在する日本最南端の石垣島から那覇市(沖縄事務局)まで約400km、鹿児島市(鹿児島事務局)までは約1,000km、福岡市(複合事務局)までは約1,200km、そして東京(日本事務局)へ行くには約2,000km。この遠大な距離感をもとめせず、第一優先順位はライオンズ活動と豪語する名実共に九州ライオンズのリーダー。そのアクティビティに対する真摯な想いは、地区内全ての単一クラブの献血活動に参加しようとする姿勢からも伺える。睨目すべき行動力を誇る。



日本一の
ライオンズ本質論者

333-C地区 市川LC幹事

L吉原 稔貴

1960年生まれ(50歳)。
1990年千葉県・市川LC入会。
1991年クラブ幹事。1997年クラブ会長。
1998年(2004年)地区PR情報副委員長。1999年地区PR情報委員長、地区運営検討特別委員。2000年ゾーン・チェアパーソン。2006年リジョン・チェアパーソン。元ガバナー故L吉原稔人を父に持つ、親子二代にわたるライオンズファミリー。SNS「ライオンネット」ではライオンズの本質を的確に捉えた数々の小論文を発表し多くの賛辞を受ける。代表作「100年前の危機」をはじめ、「私のリーダーシップ」「コミュニティの新しい定義」「托鉢の功德」「上から目線、下から目線」「ライオンズの認知度」「単位クラブの寿命」「エクステンションの新しい視点」「未来の年次大会」「がんばる人を守りたい」「正義のライオンズ」「奉仕の目線」「不規則発言のしどろもどろ」「変質」「年次大会の演出」「心得シリーズ(幹事・会長)」「ライオンズの奇跡(魔法)(壁三部作)」等がある。



ライオンズの冒険野郎
名義原のインディージョーンズ

334-B地区 PR情報副委員長
(アラート担当)

L小野木 巧

1960年生まれ(50歳)。
2008年岐阜県・各務原クローバーLC入会。
2009年クラブPR・IT委員長。2010年クラブPR・情報委員長。2008年入会5ヵ月目にしてクラブに内緒でバンコク国際大会に参加。退屈のぎに無理やり押しかけたチェンライの少数民族の住む村でその後の運命を左右するL山地幸(チェンライLC)と出会う。裸足で生活する子供達の笑顔に感銘を受け、以後防寒着支援・上靴支援・水筒支援等精力的に活動する。特に地元の小学生から2,000足を集めた上靴支援はNHKでも大々的にレポートされた。2010年には青海地震直後のチベット自治州玉樹県を訪問し、広東LCと連携してレポートする等ストイックなまでの活動を繰り広げる。国内では、アラート連絡網に特化したSNSを地区に提唱し、地区外でも331-C地区ガバナーL茂尾実(黒松内LC)の要請を受け「アカデミーネット」を立ち上げる。現在は、運営重視ではなく、アクティビティを第一の目的としたクラブのエクステンションを準備中。

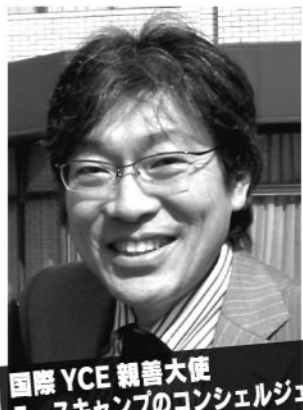


巨漢に宿る愛の灯火
寝ても覚めてもライオンズを愛する男

334-C地区 前リサーチ・中長期委員長

L辻村 昌弘

1962年生まれ(48歳)。
2006年静岡県・浜松南LC入会。
2007年副テールツイスター。2008年ライオンテマー、クラブ幹事補佐。2009年地区リサーチ・中長期委員長、クラブ青少年指導・YCE・LQ委員長。クラブ幹事からの国際大会参加依頼を真に受け、バンコク国際大会に一人で参加するも震えるような感銘を受ける。以後開催された国際大会やオセアル・フォーラムにも継続して参加し、ライオニズムの高揚を地域に伝播する。地区リサーチ・中長期委員長在職時、地域の多くのボランティア団体に手紙を出しながら交流を深め、エクステンションを模索する。またこの時の活動でNPO団体の代表をスポンサーし、自身も自立支援のNPOに入会する等、今後も活躍が期待される地区を代表する若手リーダー。



国際YCE親善大使
ユースキャンプのコンシェルジュ

334-B地区 土岐織部LC親睦委員長

L加藤 万寿夫

1960年生まれ(50歳)。
1993年岐阜県・土岐織部LC入会。
1995年(2001年)ライオンテマー。1998年クラブLCIF・YE委員長。2000年クラブPR委員長。2004年クラブ計画委員長。2006年クラブ社会環境委員長。2008年社会クラブ環境委員長。1964年に父L加藤正弘が土岐LCに入会。幼少の頃より美家に入られたニュージーランド、オランダ、マレーシア、台湾等のYCE生との交流経験から、自身も1982年に初めてユースキャンプに参加、同年シンガポールに派遣される。その後、334-A、B地区合同YCEOB会にて多くのユースキャンプや派遣生研修会等に参加。334複合地区は欧州窓口のため、得意な英語を駆使して来日したYCE生のお世話役として活躍する。2010年には、欧州各国のYCE委員長が伊太利亜ボローニャで一同に会した欧州フォーラムに、複合地区YCE委員長L岡部克二郎(津中央LC)に同行し、欧州各国の委員と議論し、バザール(各国間交渉)にて派遣・受入の確保を行う等YCE事業の奥の深さを様々な意味で体験している貴重な存在。



ライオンズクエストの伝道師
& カリスマ実演販売員

334-D地区 敦賀みなとLC第二副会長

L清水 直喜

1972年生まれ(38歳)。
2002年福井県・敦賀みなとLC入会。
2004年クラブ青少年指導委員長。
2005年地区青少年指導委員。2007年地区キャビネット管理委員長(副幹事)。2009年クラブ幹事。また2008年よりJYDライオンズクエストプログラム説明員も務める。「子供達が、日常生活で経験するさまざまな困難を自分の力で乗り越え、前向きに生きていくのに必要な能力」としての『思春期のライフスキル教育プログラム』=『ライオンズクエスト(LQ)』を普及させるため、東奔西走する。また同プログラムの手法を応用したワークショップの企画立案やファシリテーションを通じて地区内での新会員教育にも関わる等将来有望視される若手リーダー。次期国際理事候補者L高田順一が地区ガバナーの頃からの熱狂的な大ファンにして現在は懐刀。



趣味はライオンズの変革
パネルディスカッション進行

337-A地区 青年アカデミー委員長

L徳永 修一郎

1965年生まれ(45歳)。
2000年福岡県・福岡大名LC入会。
2002年クラブ幹事。2007年クラブ会長。2008年地区PR・IT・ザラタ編集委員。地区PR・IT・ザラタ編集委員在職時にL橋山義博(元毎日新聞記者・福岡舞鶴LC)を筆頭に、L山田修(福岡赤坂LC)、L広庭孝次(福岡NOZLC)、L谷和也(福岡大名LC)等と2R合同誌の抜本変革を試みる。さらに電通九州の協力の元、ライオンズのPR不足は「市民の誤認」に基づくものが原因としてデモ版TVCMを制作し地区に問う。また、若手会員に注力した「青年アカデミー委員会構想」を具現化し、「クラブの垣根を越えた自由な交流」をスローガンに、人材育成と教育を推進しながら会員維持(リテンション)と会員増強(メンバーシップ)を目指す活動を続けている。

PROGRAM

登録・受付	13:30 ~ 14:00	※登録料6,000円
第一部	14:00 ~ 14:40	◆337-A地区 新春フォーラム式典
第二部	14:40 ~ 15:10	◆基調講演 元国際理事・GMT会則地域リーダー L 後藤 隆一 グローバルな視点で見る未来のライオンズ像
第三部	15:25 ~ 17:00	◆パネルディスカッション 全国で素晴らしい活躍をしている代表的なライオン達による活動事例のご紹介とディスカッション
第四部	17:30 ~ 19:00	◆懇親会

平成23年1月28日(金) ANAクラウンプラザホテル福岡